

## 平成29年度第2回当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 会議要旨

- 1 日 時 平成29年6月27日(火) 10時15分から11時30分
- 2 場 所 当別町役場 大会議室
- 3 出席委員 山田委員長、黒澤副委員長、宮崎委員、佐々木委員、原口委員、田口委員  
佐藤委員
- 4 欠席委員 川村委員
- 5 町出席者 二木部長、長谷川課長、小畑主幹、永井係長
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議要旨

### (1) 委員長挨拶(要旨)

委員の皆様におかれましては、今月の6日に引き続きお集まりいただきありがとうございます。当別町は1年でいちばん爽やかな季節を迎えております。先々週は夏至祭、先週は町民ゴルフ大会が行われました。色々な意味で人を呼び込むことを総合戦略においても意見をいただきたい。お手元にチラシがあると思いますが9月23日に道の駅がオープンします。

本日は、前回までに各委員からいただいた意見を重点推進プロジェクトに対する意見書として、当別町に提出したいと思っております。意見の内容等について審議いただき、文言の加筆・修正、新たに追加意見がある場合は、意見を追加して提出したいと思っております。

### (議題)

#### (2) 各重点推進プロジェクトに対する意見(評価)の取りまとめについて

- ・当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略 各重点推進プロジェクト進捗状況等に係る意見書(案)について 別紙資料 ～小畑主幹説明

① 「前文」、「1」については、修正等なし。

#### ② 基本目標1について

宮崎委員～「2(1)1ポツ」について、人数という表現に疑問がありまして、そもそも人数ではなく質に対するものだと記憶しておりましたので、人数という表現は検討してもいいのではないですか。

佐々木委員～分析が完全にできていないので何とも言えませんが、一般的には人数ではなく質のミスマッチだと思います。また、新規の表現がありますが、新規ではなく既存の雇用もないということとなりますので、新規の表現を検討してもいいのではないかと思います。

黒澤副委員長～労働力の需要と供給の関係あるが、労働力の需要と供給形態にミスマッチという表現の方がいいと思います。

**【意見反映後】**

- ・雇用創出について、労働力の需要と供給形態にミスマッチがあるのであれば、どのような対策をするのか各種統計データを活用し様々な角度から分析・検討をする必要があります。【基本目標1全般】

宮崎委員～「2（1）2ポツ」について、この記述だとどのような見通しやニーズがないままインフラ整備を行う印象がある理由などあるため、修正案を提案します。

佐々木委員～ロイズは戦略的にあそこの場所に建設したのではなくて、当別町出身の方が田園風景の中がいいとなり、現在の場所になったと聞いている。一方農地法の関係で周りは農業を行っているので広げるのは難しいと思うが、企業誘致は都市部に近い方が有利であると思いますが、農地が多い国道337号のゾーンは難しいとっております。どのような企業を誘致したいか、どのゾーンにどの戦略で誘致したいかが、見えてこないでそのような状態では企業誘致はなかなか難しいと思います。

(事務局)～工業団地がないので国道337号沿線において、工業団地の造成はしていかないと議論がありますが、過去に農業投資が入っていること、かつ農業振興整備計画における農振農用地、農地法上における農地の網が掛かっている。基軸産業が農業であることから、農業に付加価値を高める食品加工製造、流通業を誘致したい。農振農用地の除外の規制緩和がされないので、町長は国家戦略特区などを活用して風穴を開けたいと思っている。国からは、個別具体の事業計画がない中での農振農用地の除外は無理と言われている。

田口委員～参考意見として、基本目標1の産業力の強化について、工業団地をもっていない自治体が、企業誘致をすることは全国的によくある話です。どのようなやり方をしているかという、町有地等をデータベース化しており、それを常に持ち歩いている。企業誘致の話があった場合は、企業は1年から2年は考えますのでそこで引き留めることが必要です。

(事務局)～町の遊休地で一定の用途が終わったものやこれまで、企業・事業所が建っていたが現在空いている土地等のデータベース化したものはありますので、更なる充実に努めたいと思います。

**【意見反映後】**

- ・企業誘致ゾーンでは、その地域特性に応じた企業の立地を促進することが重要です。誘致にあたって課題である上下水道及び高圧電源等インフラ整備のビジョンについて、誘導すべき企業の見通しやニーズを踏まえ、整理・検討をする必要があります。【食の総合拠点づくりプロジェクト】

宮崎委員～「2（1）4ポツ」について、札幌市に限定するのではなく、都市居住者が対象だと思いますので、修正案を提案します。

**【意見反映後】**

- ・大消費地である都市に近接しているメリットを活かし、都市と農業地域の交流の観点から都市居住者のニーズに即した多品種野菜の生産の検討を行う必要があります。**【当別町農業10年ビジョン】**

③ 基本目標2について

※修正等なし

④ 基本目標3について

宮崎委員～「2（3）1ポツ」について、課題について現状分析を行っている段階で、後段の優遇策の例示が具体的すぎるのではないかと思います。まず分析をしてその分析によって明らかになった課題の対策をすることがいいかと思しますので、修正案に提案をします。

**【意見反映後】**

- ・町内アパートの入居率が9割を超えている状況の中、新たなアパート建設が進まないことについての現状分析を様々な角度から行う必要があります。また、分析によって明らかになった課題に応じ、行政による優遇策を含めて検討する必要があります。**【移住促進プロジェクト】**

宮崎委員～「2（3）3ポツ」について、意見をメールとして送ったものなので、少し解説的すぎることで、また、似た意味の表現があるのでシンプルにしたいので、修正案を提案します。

**【意見反映後】**

- ・町の施策を検討するには、地域単位で考えることが必要です。都市空間における一要素（例：居住）は、他の要素（例：商業、公共公益等）と相互依存関係にあるため、定住・交流の促進について検討するには、公共公益施設の再配置・集約化等を含む居住以外の要素の配置と合わせて総合的に検討する必要があります。**【基本目標3全般】**

⑤ 基本目標4について

※意見追加に向けて

黒澤副委員長～今までは、小中一貫や幼稚園・小学校との接続が中心であったが、若い人だけでなく、高齢者の力もうまく利用できるような取り組みがひとつとあれ

ばいいかと思ひ提案しているものです。

原口委員～文案は用意していませんが、項目として追加いただければと思います。

子育て世帯応援プロジェクトの関係ですけど乳幼児医療費助成の関係や妊産婦の健康診査の交通費の助成、保育所・認定子ども園の無償化、給食の無償化等の検討の部分等、今検討している部分を追加してもらおうと、石狩振興局としても取り組んでいるので町としても盛り込んでいただきたい。また、医療大学との連携の関係でもっと取り組めることがあると思います。

⑥ その他意見及び総合戦略全体を通じて

宮崎委員～「2（5）2ポツ」について、観光以外でどのような機能を持たせるかが重要になる点については、地域内外のいろいろな人が関わるができることから、修文案を提案します。

原口委員～「2（5）2ポツ」について、観光拠点の活用とあるが、観光に加えて防災・減災拠点の文言も追加していいかと思ひます。

【意見反映後】

- ・道の駅は観光・防災拠点として活用することはもちろん、地域内外の多様な人の流れができることから、将来的に観光以外でどのような機能を持たせるのかということも大変重要になります。例えば、地域生活の拠点、福祉サービスとの拠点やバスの乗り継ぎ場所等、地域の方々が道の駅を有効に活用して、当別町のまち・ひと・しごと創生の拠点とすることも考えられます。

⑦ その他意見について

田口委員～コミュニティバスの新路線の西当別一道の駅線以外で「道の駅」を経由するのはありますか。

(事務局)～道の駅に行くのは、新路線のみとなります。あいの里キャンパス行きは、太美駅からロイズを経由し札幌大橋を渡りあいの里キャンパス着となります。あいの里キャンパス行きについて、道の駅経由の議論はありましたが、ロイズ従業員の利用が多く道の駅経由は厳しいと結論が出ました。

佐藤委員～ドローンについては、町内会等の中で飛行禁止区域にしたほうがいいという話があった。町内会で要望すると撮影禁止区域の設定をするのか。全町大丈夫だと思われても困る。

(事務局)～指定の在り方も含めて、経済部で現在調査中であります。

(3) その他

佐々木委員～地方創生推進交付金交付金の来年度申請は年明けだと思いますが、この委員会では、推進交付金に何を手上げるかを位置づけではないことよろしかったですか。

(事務局)～この委員会では、申請前の議論については行わない位置づけでおります。

佐々木委員～次回の委員会の際に、道の駅の視察を行いたい。

(事務局)～次回開催時は、ほぼ道の駅が完成しており、可能だと思いますので調整をさせていただきます。

山田委員長～委員の皆さまよろしいですか。

～ 委員了承 ～

(以上)